

河川の氾濫に備え、顧客の信頼に応える — 有限会社サーフ・プロジェクト —

企業概要・沿革

当社は、2003年（平成15年）創業。CD DVD BDプレス製品の製品化に関わる制作（ジャケットデザイン、マスタリング、オーサリングなど）から全国発売、プロモーションのお手伝いをしております。お客様のあらゆるニーズにお応えできる確かな提案力と丁寧な接客で、現在では全国から注文が来ております。

また、アーティスト様自身のクオリティのアップのためのボイストレーニング部門を立ち上げました。ボイストレーニングの基礎である『腹式呼吸』『表情筋・口型』『正しい発声』を通じてビジネスマン向けのトレーニング『ビジネスコミュニケーション・プラン』も開発。多くの企業に研修として取り入れていただいています。



事務所入り口

世の中に同じ作品はありません。全てがカスタム！

オリジナルのCDの制作は、まったく同じものはありません。それは既にリリース済みのものと同じです。ものを作るということは著作権侵害にあたるからです。

自らのCDを作るときに明確な商品のイメージをお持ちの方、何となくイメージを持っている方とさまざまです。ジャケットデザインにしてもお客様の頭の中にあるイメージを具体的な形にしていく。それは月間100タイトルを制作しているプラチナディスクだからお見せできる豊富なサンプルをもとに作り上げていきます。



様々なお客様の要求にお応えして制作した作品



BCP策定への取り組んだ理由

当社は、お客様と一緒に作り上げた製品の元となるデータのほとんどが当社内に保存されています。それはリピートオーダーが入ったときにすぐに対応できるようにするためです。

石神井川は2010年に一度氾濫したことがあります。当社は石神井川近くのビル1階に事務所を構えています。特に最近の豪雨などを考えたときに業務を止まらせないことを念頭に計画を立てる必要を感じました。

2019年9月、板橋区が簡易BCPモデルの企業への導入を勧めていることを知り、しかも訪問支援を実施するとのことで、この機会を利用してBCP策定を決意しました。



有限会社サーフ・プロジェクト
代表取締役 菊地 裕幸

策定にあたり特に注力した点

- ①少人数で運営をしているので従業員はもちろんのこと、協力会社、外注先などの連絡方法などを見直しをすること。
- ②BCP発動時、復旧判断に優先順位をつけ、落ち着いた行動ができるように策定した。
- ③年に1度決まった時期に見直しすることを社内ルールとして決めるとともに、社内、協力会社、外注先にもアナウンスするように事前に通達しておく。

BCP策定の感想・効果

BCP策定を進めていく中で、事業内容の整理ができ、社内で足りないものが、明確になったことがとても良かった。すぐにできること、また時間をかけて進めていくこと、予算をかけなければできないこと。これらを順序よく進めていくことにします。

災害時を想定して準備をしていくことでお客様の大切な情報しっかりと管理でき信頼を勝ち取っていける一つの手立てとなると感じています。

また、定期的な見直しが新たな企画の案を産んで行くと考えます。



策定したBCP文書

事業者情報

事業者名	有限会社サーフ・プロジェクト
本社所在地	板橋区中板橋29-8
設立	平成15年10月
資本金	300万円
従業員数	4名
代表者	菊地 裕幸
Tel	03-6909-6821
E-mail	info@surf-project.com